

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2020. 2. 25 No.19

「CS意見交換会」開催

「地域・学校で子どもたちを育てる活動に関わる意見交換会」がありました。CSの発展をめざして、CSやボランティア活動の現状を地域の方々に説明して意見を頂こうと、境港市教育委員会と学校運営協議会が企画したもので、地区別に開催しました。頂いた多くの意見は参考になるものばかり。必ず来年度に生かしたいと思います。



会長「子どもたちに元気をもらいます」

上道地区対象日（1/27）

外は冷たい雨でしたが、会場のランチルームでは、読み聞かせや環境整備などで学校に関わっておられる皆さんが和やかに地域や子どもたちへの思いを語り合いました。そして、お互いの趣味や特技を紹介し合うことで新たなつながりが生まれ、「次の一手」を考える雰囲気が出ていきました。「新しい港が整備されるので、日本文化の体験を通して外国の人と交流したい」「障がいの有無に関係なく交流できる場を」等々、上道の皆さんが描く夢は、一中校区をはるかに越えて広がっていきました。



気楽に話せるグループ討議

境地区対象日（1/31）

雪が舞う寒い日でしたが、やはり熱心な協議が行われました。前回同様、まず自分の持ち味をじっくり考えた後、小グループで紹介し合い、今後やってみたいことを話し合いました。「境は釣りが好きな人が多い。一中生は魚をさばく授業があるし、リーダー研修会で「つり大会」を提案したというから、やってみたい。」「子どもたちの思いを理解する地域でありたい。一緒にまちをきれいにしたい。」「まず足元から」の思いを共有できた境地区でした。



「声をかけることが大切だね」

次回は合同で行うかもしれません。
ぜひ誘い合わせてお出かけ下さい。

一中生が「和菓子づくり」(2/4~6)

先生も学んだ！

美術科の2年生の学習で、GTとして地域在住の澤本祐介さんにお越しいただき、和菓子制作（粘土による彫像）を実施しました。制作した和菓子の形は「梅」と「ウグイス」です。事前に撮影した動画とGTの実演で手順をじっくり確認してから制作していきました。動画だけでも制作手順は理解できますが、やはり実演を見た生徒の反応は大きく、一瞬で美しい形が出来上がる様子に「早い！」「なんか違う、なんか！」などと感嘆の声があがり、拍手が起るクラスもありました。

「本物」の与える影響に改めて驚かされ、学校教育に生かせる地域力の奥深さとつながりの面白さや可能性を感じる1時間となりました。

（境一中HP「日誌」より一部抜粋）

※「境港一中」で検索してください



この道40年の「先生」に学ぶ

境小で「ありがとう集会」(2/12)

児童と先生方が、読み聞かせや見守り活動など13名のボランティアの皆さんに感謝の気持ちを伝えました。

最初の校歌斉唱では、一緒に歌われる方が何人もありました。「懐かしい校歌が歌えて胸がいっぱいです」「自分も子どもも卒業した学校に招かれてうれしいです」校歌には世代を超えて人々を繋ぐ力がある」と改めて感じました。私も今まで多くの校歌を歌ってきましたが、どの学校・地域も自分にとって「心のふるさと」です。



各学年から感謝状の贈呈

筆者の独り言 みんなが「まちのサポーター」

「総合的な学習の時間が始まった2001年、小3担任として取り組んだ『まちのサポーターをさがせ』という学習は、今の自分を支えています。Jリーグ誕生で一般的になった『サポーター』。決して主役ではないけれど、主役のためになると思ったら、できることを精いっぱいする。人の幸せのために生きようとする、その人自身がいきいきと輝いている。その意味では、みんなが主役であり、そんな生き方が世の中に必要なのではないか。」7年前、溝口小『キョートー通信』に、こう書きました。『まちのサポーター』、主役は子どもです。

「応援団員」を募集しています！

「まなびの応援団」(学習の講師や支援)、「あんしん応援団」(環境整備・見守り活動)、「ふれあい応援団」(交流・行事)の3分野で、あなたの趣味や特技を子どもたちのために役立ててみませんか？お問い合わせは一中・境小・上道小まで。